

事務連絡
平成24年8月11日

関係者 各位

関東東海北陸農業試験研究推進会議
関東東海・水田作畑作部会 事務局

平成24年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議
関東東海・水田作畑作部会 冬作研究会（麦類奨励担当者会議を含む）に関する連絡

標記会議の開催については別途公文でお知らせいたしておりますが、別紙1の開催要領により冬作研究会を開催いたします。

本会は、昨年度より「冬作研究会」として開催しており、重点検討事項の検討および新品種候補、新配布系統と品種決定に関する情勢報告を主体に実施します。従って、昨年までとは異なり、本会では研究成果情報の検討、ならびに今後推進すべき研究問題および部会に対する要望事項に関する論議は実施しません。

研究会の運営に当たっては試験担当者を中心とした発表、意見交換を行う予定であり、試験担当者の出席についてご配慮をお願いします。会議資料の作成においては別紙2を参照し、資料はファイルを電子メールに添付する形で提出していただくようお願いします。

記

1. 提出資料、締め切り一覧

提出資料名	様式	提出ファイルの形式	提出期日
会議・懇親会・宿泊申込書	様式A	Excel	8. 30
試験研究課題名	様式B	Excel	8. 30
成績・計画概要集	中央農研ホームページ 研究交流の広場 参照	PDF	9. 3
奨励品種決定調査試験概要 奨励品種決定調査事業の現状	別添3参照	Wordまたは一太郎、 PDF	9. 3
新品種候補 新配付系統 育種経過概要 配付系統の累年成績	別添4参照	Wordまたは一太郎、 PDF	9. 3
各県における湿害発生状況	別添5参照	Wordまたは一太郎、 PDF	9. 3

成績・計画概要集の書き方、様式について不明な点は、事務局に問い合わせください。

その他の様式等のファイルは作物研、中央農研については事務局に請求してください。県においては、各県連絡責任者に送付します。メールに添付して送ることも可能ですので、事務局にご連絡下さい。

2. 送付先（事務局）

中央農業総合研究センター 温暖平坦地水田輪作研究（関東水田輪作研究）グループ 渡邊 和洋
〒305-8666 つくば市観音台 3-1-1

e-mail : kanto-suiden@naro.affrc.go.jp

TEL : 029-838-8512 / 8822, FAX : 029-838-8484

2012 年 7 月 24 日

平成 24 年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議
 関東東海・水田作畑作部会 冬作研究会

関東東海北陸農業試験研究推進会議

関東東海・水田作畑作部会長 中央農研 生産体系研究領域長 渡邊好昭
 同副部会長 作物研 稲研究領域長 根本博

1. 趣旨

関東東海地域における冬作物の生産性や品質の向上、生産体系の改善を図るための研究計画や試験研究戦略について検討し、作物育種研究、栽培・品質研究及び作業技術体系を核とした試験研究の情報交換や課題化の推進を行う必要がある。食料・農業・農村基本計画では、麦類の大幅な増産が求められており、そのために水田の高度利用による作付面積の拡大が謳われている。しかしながら、水田転換畑では現在においても湿害によると考えられる生育抑制の結果、気象条件から推定される収量ポテンシャルに及ばない実情にある。したがって、今後、麦類の収量性の大幅向上、ならびに生産者の作付意欲を高めるためには、湿害回避のための技術開発が不可欠である。そこで、湿害発生 of 生理機構について理解を深めるとともに、耐湿性品種の育成、および湿害回避栽培技術について検討し、試験・研究への方向や研究課題の設定につなげるための議論を行う。

2. 開催日時 平成 24 年 9 月 12 日（水）13：15～13 日（木）12：00

3. 開催場所 中央農業総合研究センター 大会議室

4. 議 事

1) 開会挨拶 (9/12、13：15～30) 水田作畑作部会長

2) 重点検討事項の検討 (13：30～17：00)

「麦類の湿害の発生状況とその対策技術」

===== 《話題提供演題については仮題》 =====

(1) 「麦類の湿害についての概説」

作物研究所 麦類研究領域 麦遺伝子技術研究分野
 上席研究員 小柳敦史

(2) 「麦類の湿害発生の生理的側面」

作物研究所 麦類研究領域 麦遺伝子技術研究分野
 上席研究員 川口健太郎

(3) 「耐湿性の検定と耐湿性品種の育成」

愛知県農業総合研究所

(4) 「湿害回避のための栽培技術」

中央農業総合研究センター 生産体系研究領域 温暖平坦地水田輪作
 主任研究員 渡邊和洋

(5) 「各県における湿害発生状況の紹介」

(6) 総合討論

3) 新品種候補、新配付系統と品種決定に関する情勢報告 (9/13、9：00～11：00)

4) その他 (11：00～12：00)

5. 参集範囲：農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、関東東海地域都県農業関係試験研究機関、普及機関及び行政部局の関係者、作物研究所、中央農業総合研究センター、その他部会長が必要と認めた者
6. 連絡先（事務局）
中央農研 温暖平坦地水田輪作研究（関東水田輪作）グループ 渡邊和洋
電話：029-838-8512 / 8822, FAX：029-838-8484
E-mail: kanto-suiden@naro.affrc.go.jp
7. その他
資料作成、参加申し込み、その他については、別途事務局より連絡する。

平成24年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議
関東東海・水田作畑作部会 冬作研究会 会議資料の作成要領

1. 成績・計画概要集

- 1) 試験研究課題名は様式Bに記入し、8月30日までに事務局宛に提出して下さい。この試験研究課題名は、成績・計画概要集の目次、索引の作成にも利用しますので、キーワードを5つ以内で記入して下さい。
- 2) 「成績・計画概要集」は、概要書様式(上記 中央農研ホームページ研究交流の広場)を参照して作成して下さい。なお、試験研究成績・計画概要集としてCD-ROMを作成し関係先に配布することに了解していただけない場合には、提出期限までに事務局にご連絡下さい。
- 3) 課題の区分については、関東東海>水田作畑作>冬作>作物分類-課題分類番号-場所分類番号-通し番号の順に記載します。
(例 関東東海 >水田作畑作 >冬作物 >小麦-1-A1-1)
課題分類毎に県(場所)の通し番号を記入して下さい。

[作物分類] 2種類以上の作物を供試した場合は例えば小麦・大麦のように併記する

小麦 (ライ小麦を含む)
大麦 (六条大麦, 二条大麦, 裸麦を含む)

えん麦
ライ麦
なたね

[課題分類番号]

- 1 育種関係
- 2 奨励品種決定事業の現状、成績概要及びこれに準ずる試験
- 3 栽培(生理生態, 品種選定, 耕種法, 生育障害, 生育診断調節, 収穫乾燥)
- 4 品質, 利用加工
- 5 施肥, 土壌管理
- 6 病虫害, 雑草
- 7 作付, 作業体系(実証試験, 機械化等)
- 8 その他

[場所分類番号]

A 作物研	B 中央農研	C 茨城県	D 栃木県
E 群馬県	F 埼玉県	G 千葉県	H 東京都
I 神奈川県	J 山梨県	K 長野県	L 静岡県
M 岐阜県	N 愛知県	O 三重県	

なお、県内で複数の場所などを区別する必要がある場合は K1, K2・・・のように整理して下さい。(例 K1:農事試, K2:中山間農試)

- 4) 成績・計画概要は偶数ページになるようにし、ページ番号は付けないで下さい。提出前にPDF化したファイルをプリントアウトして、PDF化した際のミスが無いことを確認してから送付するようにお願いします。

5) ファイル名

PDFファイル名は、成績・計画概要の「課題分類番号－場所分類番号－通し番号」として下さい。半角アルファベット(A-Z)、半角数字(0-9)とマイナス記号(-)のみを用いて下さい。

ファイル名の例

課題の分類：関東東海 >水田作畑作 >冬作物 >小麦－1－A1－1の場合

PDFファイル名は1-A1-1.pdfとなります。

2. 奨励品種決定調査に関する資料

「奨励品種決定調査試験概要」「奨励品種決定調査事業の現状」については、別添3の様式に従って、関係全場所が作成して下さい。

3. 新品種、系統関係の資料

「新品種候補」、「新配付系統」、「育種経過概要」、「配付系統の累年成績」については、別添4の様式を参照して、育成場所が作成して下さい。

4. 奨励品種決定調査試験概要、奨励品種決定調査事業の現状についても、CD-ROMに掲載しますので、概要書と同様に課題の区分をつけ、ファイル名も概要書と同様につけて作成して下さい。

5. 重点検討事項「麦類の湿害の発生状況とその対策技術」については、別添5に従い、各県における湿害の発生状況をご報告ください。画像がある場合は、JPEG等の画像ファイル、またはPowerpoint(2003または2007)ファイルで送っていただいてもかまいません。なお、話題提供者には別途連絡させていただきます。

6. 問い合わせ先（事務局）

中央農研 温暖平坦地水田輪作研究（関東水田輪作）グループ 渡邊和洋

電話：029-838-8512 / 8822, FAX：029-838-8484

E-mail: kanto-suiden@naro.affrc.go.jp